

高野光二郎後援会結成大会

650名の入場者を迎え盛大に開催

平成14年11月16日(土)午後7時より大ホールにおいて高野光二郎後援会結成大会が開催された。後援会結成式は、来賓に松尾龍人高知市長・二神正三高知副知事議員、牧島功伸奈川県議会議長、河野太郎衆議院議員を迎え、650名の入場者で盛大に開催された。

応援演説にかけつゝ松尾市長は「高知市には市町村合併」「政治問題など課題が山積している。高知市と高知県がうまく役割分担して問題解決にあたりたい」と高野光二郎が「高知市と高知県のパイプ役として大いに活躍できるような全力で応援したい」と語った。ひきつづき、二神議員は「県議会議員は選挙区だけに拘りられることなく高知県のために政治活動につとめたい」と高野光二郎の政治活動を通じて高知と行政は誰で誰が誰を是非、高野光二郎と力を合わせ高知県発展のために全力を尽くしたい」と力強く語った。また、牧島議員は「神奈川は離島の豪府県として高野光二郎の地盤な下積み生活より政治活動を進めたい」と共に共通するものがあり、神奈川では政治活動を通じて高知とつながりたい人間である。5年間の秘書生活のなかで、政治を学び、ひたむきに



喜び、悲しみが人一倍わかる人間である」と高野光二郎の政治に対する姿勢ひたむきさを紹介し、高野光二郎に力強いエールを送った。また、河野議員は、高野光二郎の河野注平衆議院議員の秘書時代の紹介をした。そして、地方分権は着実に進行しており、国の役割、地方の役割を明確にして、既得権にこだわることなく、改革を実行しなければならぬ。政治の世界に28歳の青年が入ることで、従来の高知県がどう変わるか試す価値がある」と高野光二郎に対して行いに落ちあふれた応援演説を行った。

ひきつづき行われたシンポジウムのなかで、河野議員からは国会議員から、世界的視野に立ち世界に認められる政策を立案し、政治を行うべきであるとして、世界に認められる日本にしていかなければならない。万、地方政治は県議会議員が行うべきであり、国会議員とは役割が拍すべきである」と述べた。これに対し、高野光二郎は「高知県政においては県民の力を最大限に活用し、県民の視点で県民と力を合わせて推進する政治が理想。高知県が日本、世界に発信できる県に変えていきたい。県民みんなが力を合わせ、喜びを分かち合える高知県にしたい。」との夢を語った。高野光二郎後援会結成大会は「高知宣言」により、満場の拍手とともに閉会を迎えた。



橋本大二郎高知県知事と 高知県庁 於

意見交換

教えてもらって、聞かせてもらって、自分で考えて、伝えて、教えてもらって、望みを聞いて、自分で考えて実行していく。

「あしたの高知のために」
そのために
「まっしぐら」



松尾龍人高知市長と河野太郎代表と士佐藤 於

ボランティアスタッフ募集中
みなさまのご参加お待ちしております。



お近くにお立寄の際は、県政に対してのご意見やその他のご意見を是非お聞かせ下さい。

高野光二郎 後援会事務所
〒780-0072 高知市高橋98-1
TEL 088-878-1777 FAX 088-878-1770
E-MAIL kojiro@i-kochi.or.jp

総決起大会開催 平成15年 **2月20日(木)** 県民文化ホール
19:00開演 オレンジホール於
みなさまお誘い合わせの上、ご来場ください。